

市内地域公共交通に関する検討調査

既存資料による現況整理結果

【目次】

1. 既存資料による現況整理	1
1.1 人口・世帯数	1
1.2 道路	6
1.3 交通流動	8
1.4 公共交通網	14

パシフィックコンサルタンツ(株)

平成23年8月

1. 既存資料による現況整理

1.1 人口・世帯数

(1) 町丁目別人口・世帯数

① 町丁目別人口密度

- ➡ 市内で人口密度が高いのは緑が丘、大南 1,3 丁目、中原 3 丁目であり、青梅街道の北側は人口密度は低い。

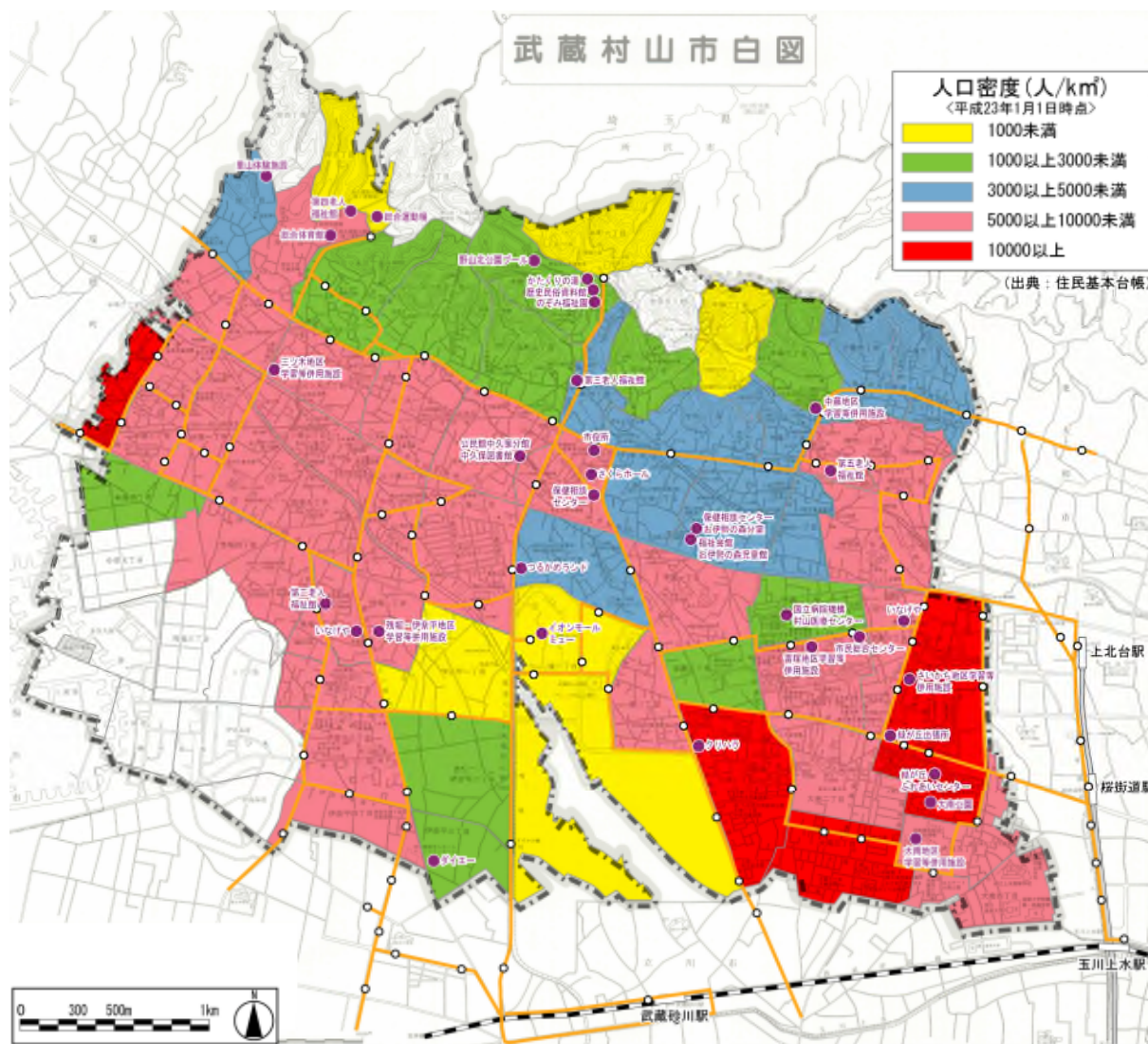


図 1-1 町丁目別人口密度

② 町丁目別世帯数

➡ 市内で世帯数が多いのは大南1～3丁目と本町1丁目である。

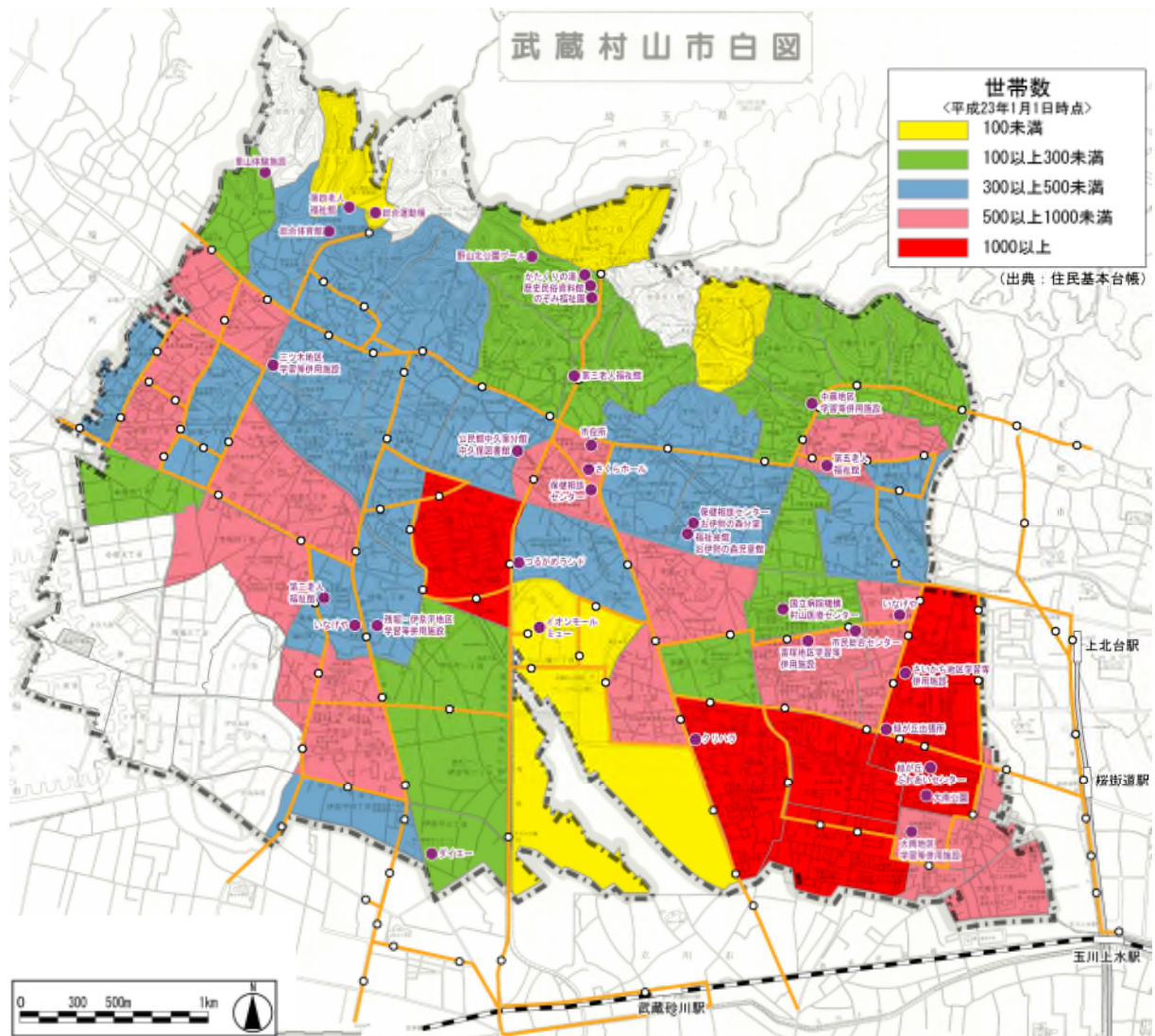


図 1-2 町丁目別世帯数

(2) 町丁目別高齢者の人口・世帯数

① 町丁目別高齢者人口密度

- ➡ 市内で高齢者人口密度が高いのは緑が丘・大南地区に広がっている。

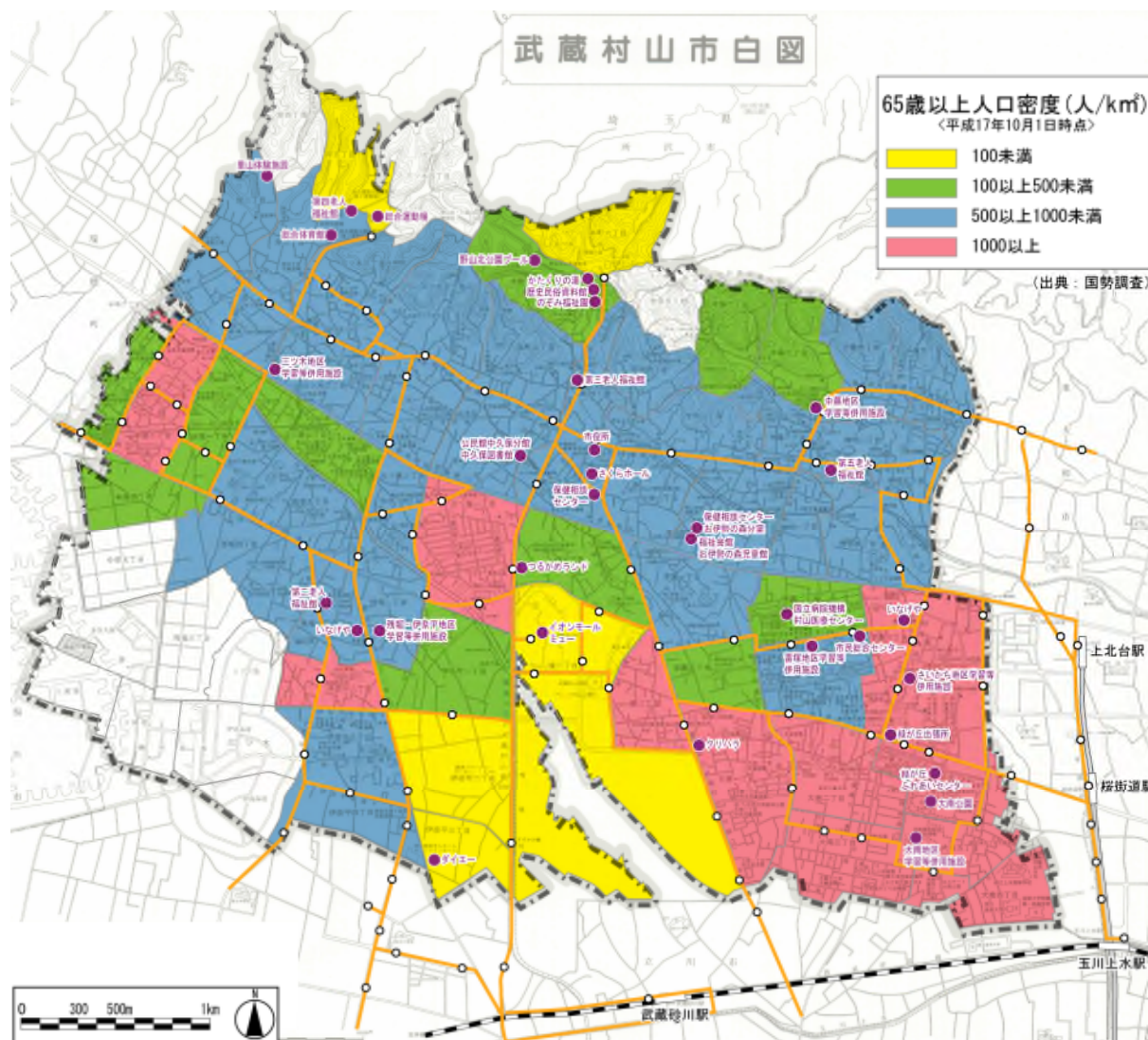


図 1-3 町丁目別高齢者人口密度

② 町丁目別高齢者比率

➡ 町丁目単位で高齢者の比率が高いのは緑が丘、榎1丁目で30%以上となっている。

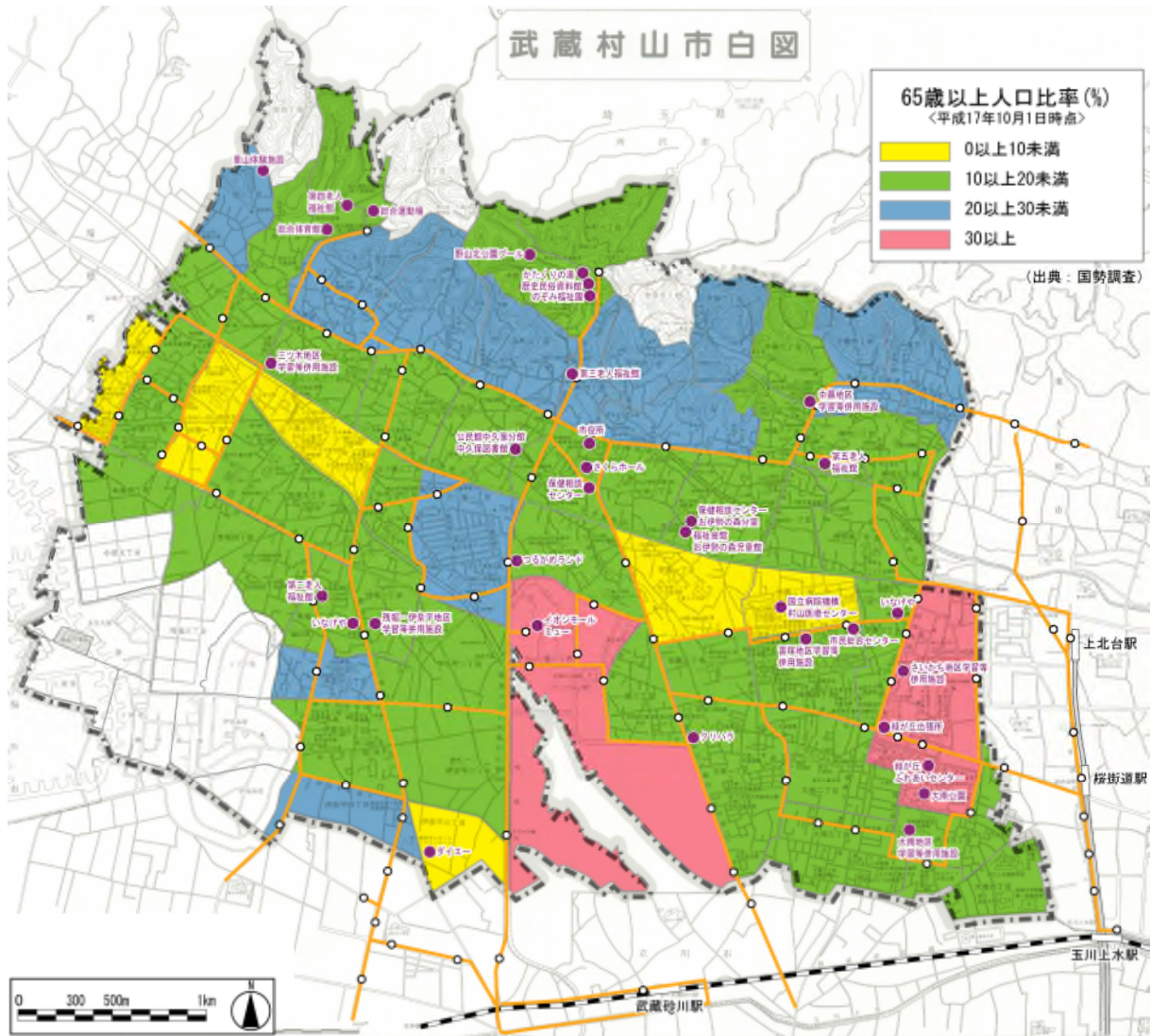


図 1-4 町丁目別高齢者人口比率

③ 町丁目別単身高齢者世帯割合

➡ 町丁目単位で単身の高齢者世帯の割合が高いのは緑が丘で20%以上となっている。

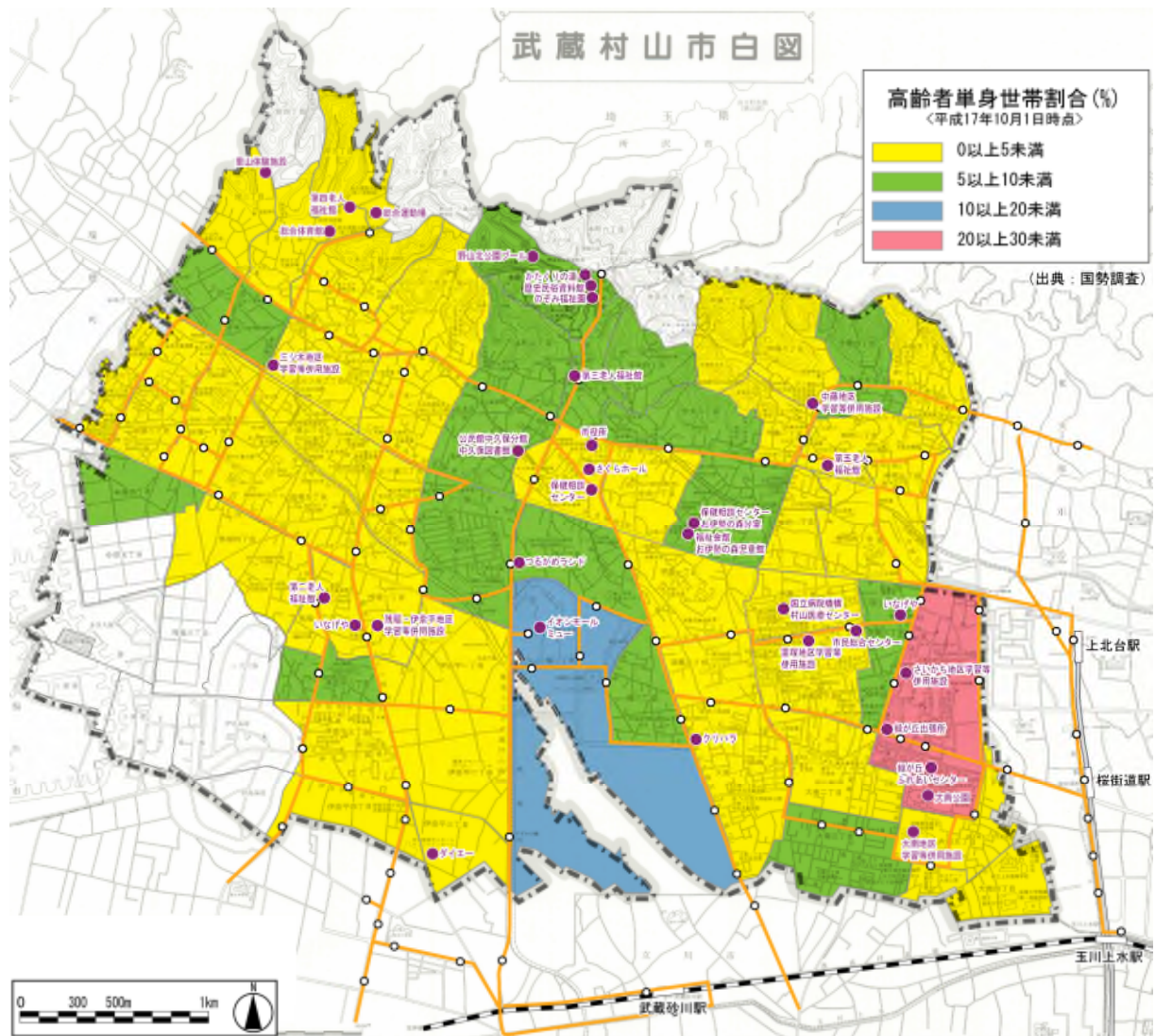


図 1-5 町丁目別高齢者人口比率

1.2 道路

(1) 道路混雑状況

- 市内の道路混雑状況は、新青梅街道、青梅街道、三ツ木八王子線で混雑度が1.5を超えており渋滞している。

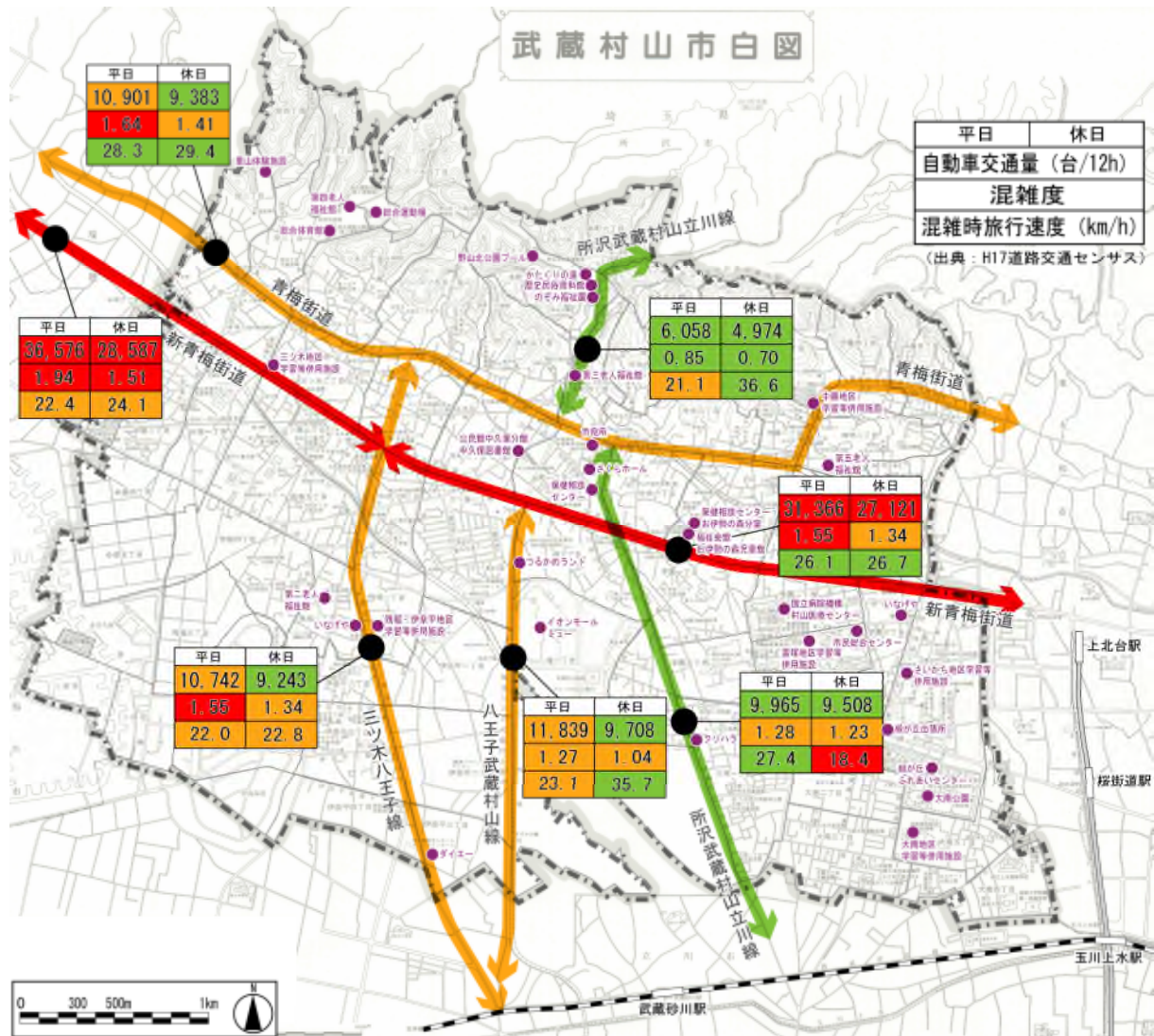


図 1-6 道路混雑状況

※イオンモールやジョイフル本田(瑞穂町)は H17 道路交通センサスの調査以降に立地しているため、現在の混雑状況とは整合しない箇所がある。

(2) 都市計画道路の事業進捗状況

- 市内の都市計画道路のうち、未整備路線は立3・5・20と立3・5・36であり、その他の路線は概ね完成、概成、事業中となっている。

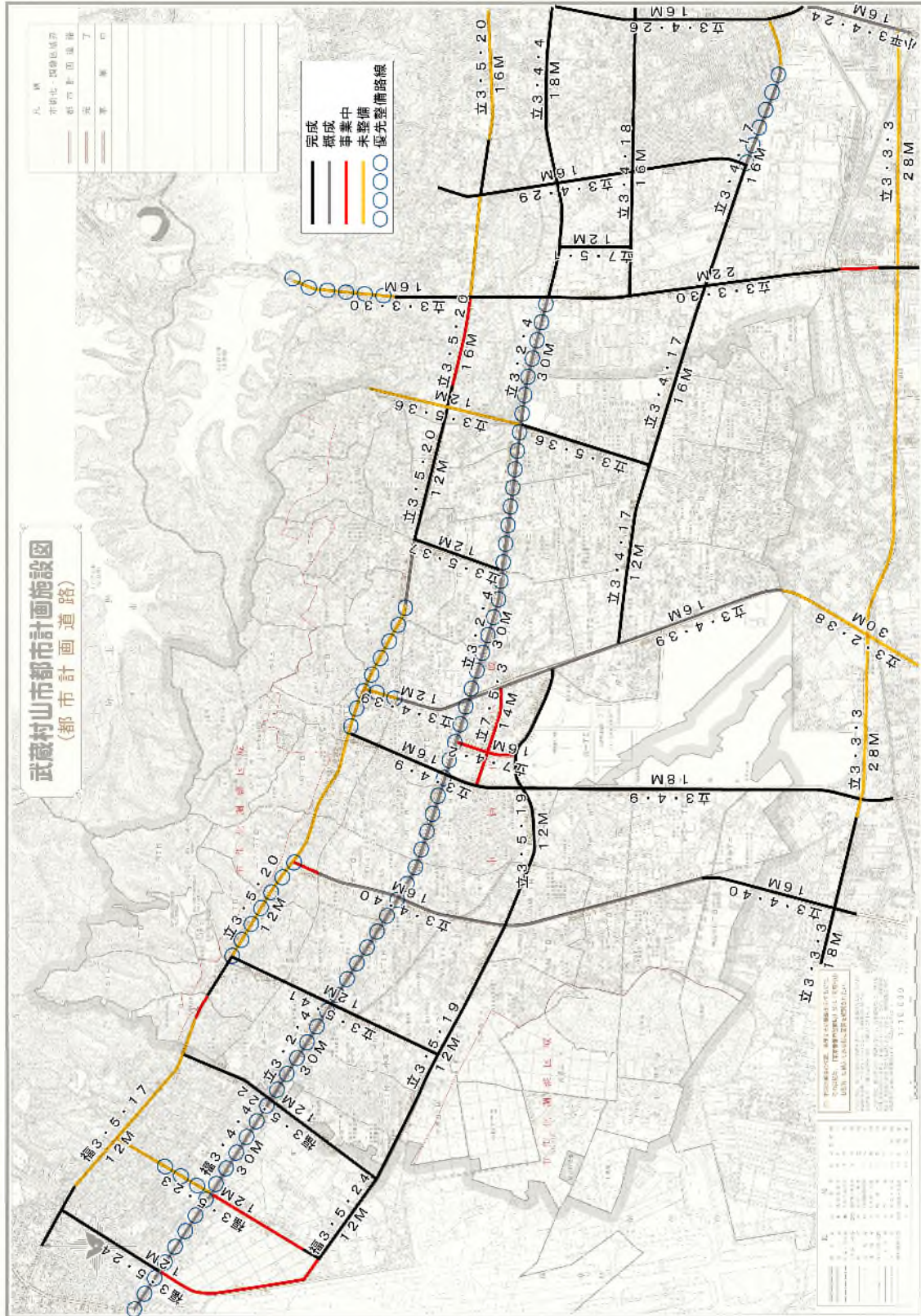


図 1-7 都市計画道路の事業状況

1.3 交通流動

(1) 目的別の移動先／H20年パーソントリップ調査*より

*「どのような人が」「いつ」「何の目的で」「どこから」「どこへ」「どのような交通手段で」動いたかについて調査し、1日のすべての動きを把握した調査

① 通勤

- 平成20年のパーソントリップ調査（以下「H20PT」）によると、市内に通勤している人が約3割弱で、23区と立川市が各1割程度、昭島市と東大和市、小平市、瑞穂町が約5%程度である。

② 通学

- 市内に通学しているのが約2/3を占めており、八王子市と23区が6～7%となっている。

③ 私事

- 私事目的は市内が約2/3を占めており、立川市と東大和市が各約1割となっている。

④ 全目的

- 全目的の合計では、市内が約半数であり、次いで立川市、東大和市、23区の順になっている。

表 1-1 目的別の移動先

通勤				私事			
移動先	トリップ数	比率	累積比率	移動先	トリップ数	比率	累積比率
武蔵村山市	7,215	27.9%	27.9%	武蔵村山市	25,785	62.6%	62.6%
23区計	3,422	13.2%	41.1%	立川市	3,664	8.9%	71.5%
立川市	2,735	10.6%	51.7%	東大和市	3,631	8.8%	80.3%
昭島市	1,613	6.2%	57.9%	瑞穂町	1,762	4.3%	84.6%
東大和市	1,501	5.8%	63.7%	昭島市	1,294	3.1%	87.7%
小平市	1,104	4.3%	68.0%	23区計	1,022	2.5%	90.2%
瑞穂町	1,095	4.2%	72.2%	その他	4,027	9.8%	100.0%
八王子市	730	2.8%	75.0%	計	41,185	100.0%	-
羽村市	641	2.5%	77.5%				
国分寺市	515	2.0%	79.5%				
青梅市	509	2.0%	81.4%				
日野市	439	1.7%	83.1%				
福生市	433	1.7%	84.8%				
国立市	402	1.6%	86.4%				
西東京市	400	1.5%	87.9%				
府中市	366	1.4%	89.3%				
武蔵野市	350	1.4%	90.7%				
その他	2,416	9.3%	100.0%				
計	25,886	100.0%	-				

全目的			
移動先	トリップ数	比率	累積比率
武蔵村山市	78,576	54.4%	54.4%
立川市	13,056	9.0%	63.4%
東大和市	8,854	6.1%	69.5%
23区計	6,609	4.6%	74.1%
瑞穂町	4,798	3.3%	77.4%
昭島市	4,466	3.1%	80.5%
小平市	2,212	1.5%	82.0%
八王子市	2,145	1.5%	83.5%
東村山市	1,764	1.2%	84.7%
福生市	1,758	1.2%	85.9%
青梅市	1,741	1.2%	87.1%
羽村市	1,722	1.2%	88.3%
入間市	1,609	1.1%	89.5%
日野市	1,307	0.9%	90.4%
その他	13,938	9.6%	100.0%
計	144,555	100.0%	-

通学			
移動先	トリップ数	比率	累積比率
武蔵村山市	7,379	67.9%	67.9%
八王子市	720	6.6%	74.5%
23区計	624	5.7%	80.2%
立川市	314	2.9%	83.1%
東大和市	222	2.0%	85.2%
日野市	160	1.5%	86.6%
国分寺市	159	1.5%	88.1%
昭島市	145	1.3%	89.4%
町田市	136	1.3%	90.7%
その他	1,014	9.3%	100.0%
計	10,873	100.0%	-

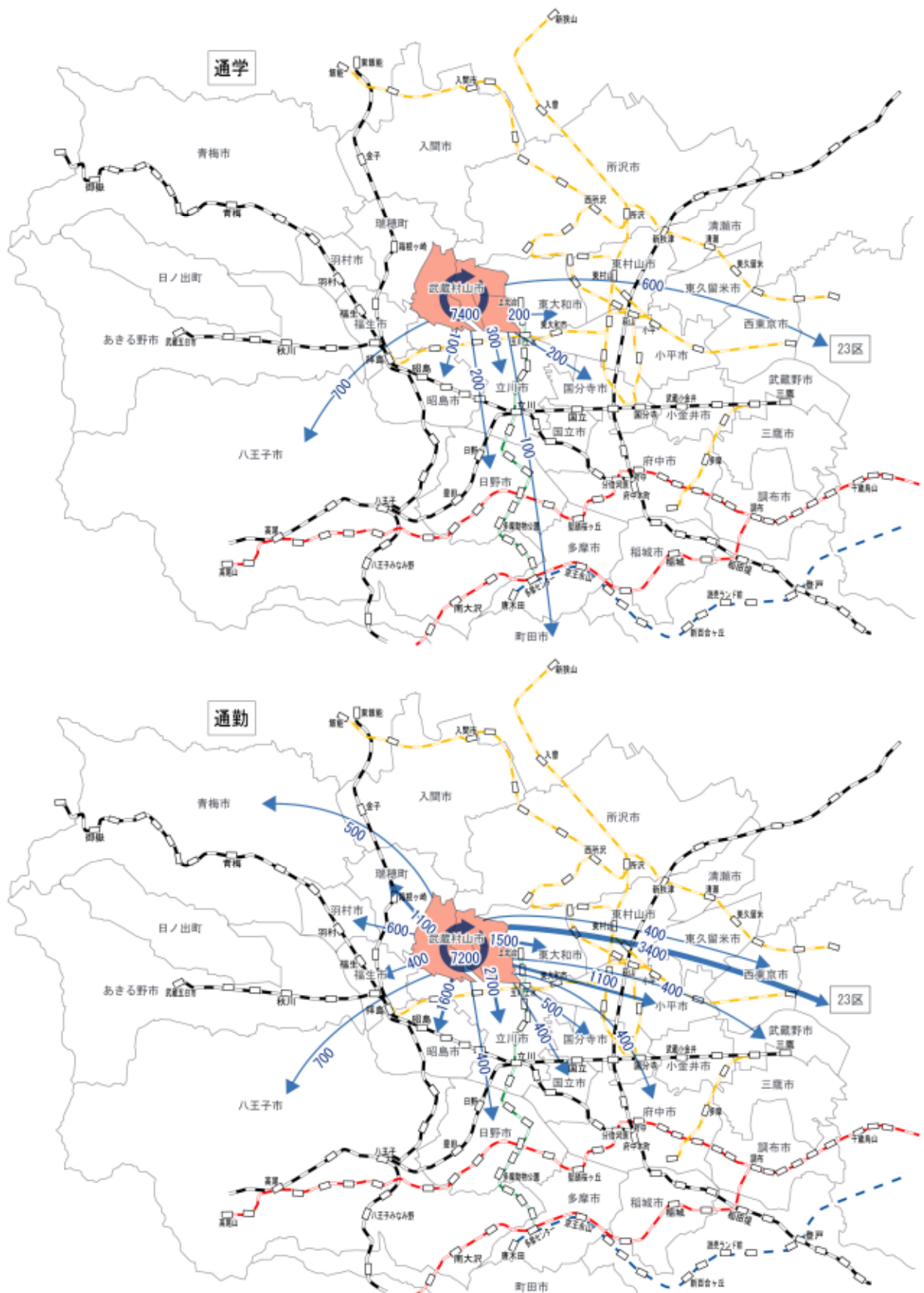


図 1-8 目的別の移動先①

(2) 小ゾーン別・目的別・代表交通手段分担率

1) 発生（武蔵村山市発）

① 通勤

- ☉ トリップ数が多いのは07910ゾーン、07912ゾーン、07911ゾーンの順となっている。
- ☉ 07912ゾーンは自動車の分担率が約半分となっており、他ゾーンよりも自動車分担率が高い。
- ☉ バス利用は市全体でも2%に止まっている。

② 通学

- ☉ トリップ数が多いのは07910ゾーン、07912ゾーン、07911ゾーンの順となっている。
- ☉ 07912ゾーンのみバスの分担率が6%と高い。変わりに自動車の分担率が他ゾーンに比べて少ない。

③ 私事

- ☉ トリップ数が多いのは07910ゾーン、07912ゾーン、07911ゾーンの順となっている。
- ☉ 各ゾーンともに自動車の分担率が高いが、特に07912ゾーンでは約半分となっている。
- ☉ バス利用は市全体でも3%に止まっている。

2) 集中（武蔵村山市着）

① 通勤

- ☉ トリップ数が多いのは07912ゾーン、07911ゾーン、07910ゾーンの順となっている。
- ☉ 07912ゾーンは自動車の分担率が約半分となっており、他ゾーンよりも自動車分担率が高い。
- ☉ バス利用は市全体でも2%に止まっている。

② 通学

- ☉ トリップ数が多いのは07910ゾーン、07912ゾーン、07911ゾーンの順となっている。
- ☉ 07910ゾーンでは鉄道・モノレールの分担率が36%と高い。
- ☉ バスは全ゾーンともに0%となっている。

③ 私事

- ☉ トリップ数が多いのは07911ゾーン、07910ゾーン、07912ゾーンの順となっている。
- ☉ 07911ゾーンは自動車の分担率が約6割となっており、他ゾーンよりも自動車分担率が高い。
- ☉ バス利用は市全体でも2%に止まっている。

表 1-2 小ゾーン別・目的別・代表交通手段分担率

		発生量(トリップ数)						計
		鉄道・モノ レール	バス	自動車	2輪車	自転車	徒歩	
通勤	07910	3,334	104	3,147	641	2,630	459	10,315
	07911	2,110	150	2,904	183	1,191	461	6,999
	07912	1,653	245	4,146	316	1,625	412	8,397
	計	7,097	499	10,197	1,140	5,446	1,332	25,711
通学	07910	963	0	297	0	841	2,333	4,434
	07911	476	0	144	0	545	1,276	2,441
	07912	977	220	437	0	160	2,136	3,930
	計	2,416	220	878	0	1,546	5,745	10,805
私事	07910	847	378	4,424	47	3,251	2,379	11,326
	07911	325	188	2,581	125	1,890	861	5,970
	07912	490	146	3,770	133	1,796	909	7,244
	計	1,662	712	10,775	305	6,937	4,149	24,540

		発生量(分担率)						計
		鉄道・モノ レール	バス	自動車	2輪車	自転車	徒歩	
通勤	07910	32.3%	1.0%	30.5%	6.2%	25.5%	4.4%	100%
	07911	30.1%	2.1%	41.5%	2.6%	17.0%	6.6%	100%
	07912	19.7%	2.9%	49.4%	3.8%	19.4%	4.9%	100%
	計	27.6%	1.9%	39.7%	4.4%	21.2%	5.2%	100%
通学	07910	21.7%	0.0%	6.7%	0.0%	19.0%	52.6%	100%
	07911	19.5%	0.0%	5.9%	0.0%	22.3%	52.3%	100%
	07912	24.9%	5.6%	11.1%	0.0%	4.1%	54.4%	100%
	計	22.4%	2.0%	8.1%	0.0%	14.3%	53.2%	100%
私事	07910	7.5%	3.3%	39.1%	0.4%	28.7%	21.0%	100%
	07911	5.4%	3.1%	43.2%	2.1%	31.7%	14.4%	100%
	07912	6.8%	2.0%	52.0%	1.8%	24.8%	12.5%	100%
	計	6.8%	2.9%	43.9%	1.2%	28.3%	16.9%	100%

		集中量(トリップ数)						計
		鉄道・モノ レール	バス	自動車	2輪車	自転車	徒歩	
通勤	07910	606	83	1,159	49	1,234	332	3,463
	07911	327	132	2,269	537	1,523	414	5,202
	07912	719	31	3,720	373	1,640	524	7,007
	計	1,652	246	7,148	959	4,397	1,270	15,672
通学	07910	1,841	0	437	0	919	1,942	5,139
	07911	0	0	0	0	100	1,227	1,327
	07912	131	0	349	0	388	2,085	2,953
	計	1,972	0	786	0	1,407	5,254	9,419
私事	07910	155	122	2,312	78	2,911	1,918	7,496
	07911	97	141	5,396	31	2,461	1,074	9,200
	07912	0	95	2,268	51	1,344	978	4,736
	計	252	358	9,976	160	6,716	3,970	21,432

		集中量(分担率)						計
		鉄道・モノ レール	バス	自動車	2輪車	自転車	徒歩	
通勤	07910	17.5%	2.4%	33.5%	1.4%	35.6%	9.6%	100%
	07911	6.3%	2.5%	43.6%	10.3%	29.3%	8.0%	100%
	07912	10.3%	0.4%	53.1%	5.3%	23.4%	7.5%	100%
	計	10.5%	1.6%	45.6%	6.1%	28.1%	8.1%	100%
通学	07910	35.8%	0.0%	8.5%	0.0%	17.9%	37.8%	100%
	07911	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.5%	92.5%	100%
	07912	4.4%	0.0%	11.8%	0.0%	13.1%	70.6%	100%
	計	20.9%	0.0%	8.3%	0.0%	14.9%	55.8%	100%
私事	07910	2.1%	1.6%	30.8%	1.0%	38.8%	25.6%	100%
	07911	1.1%	1.5%	58.7%	0.3%	26.8%	11.7%	100%
	07912	0.0%	2.0%	47.9%	1.1%	28.4%	20.7%	100%
	計	1.2%	1.7%	46.5%	0.7%	31.3%	18.5%	100%

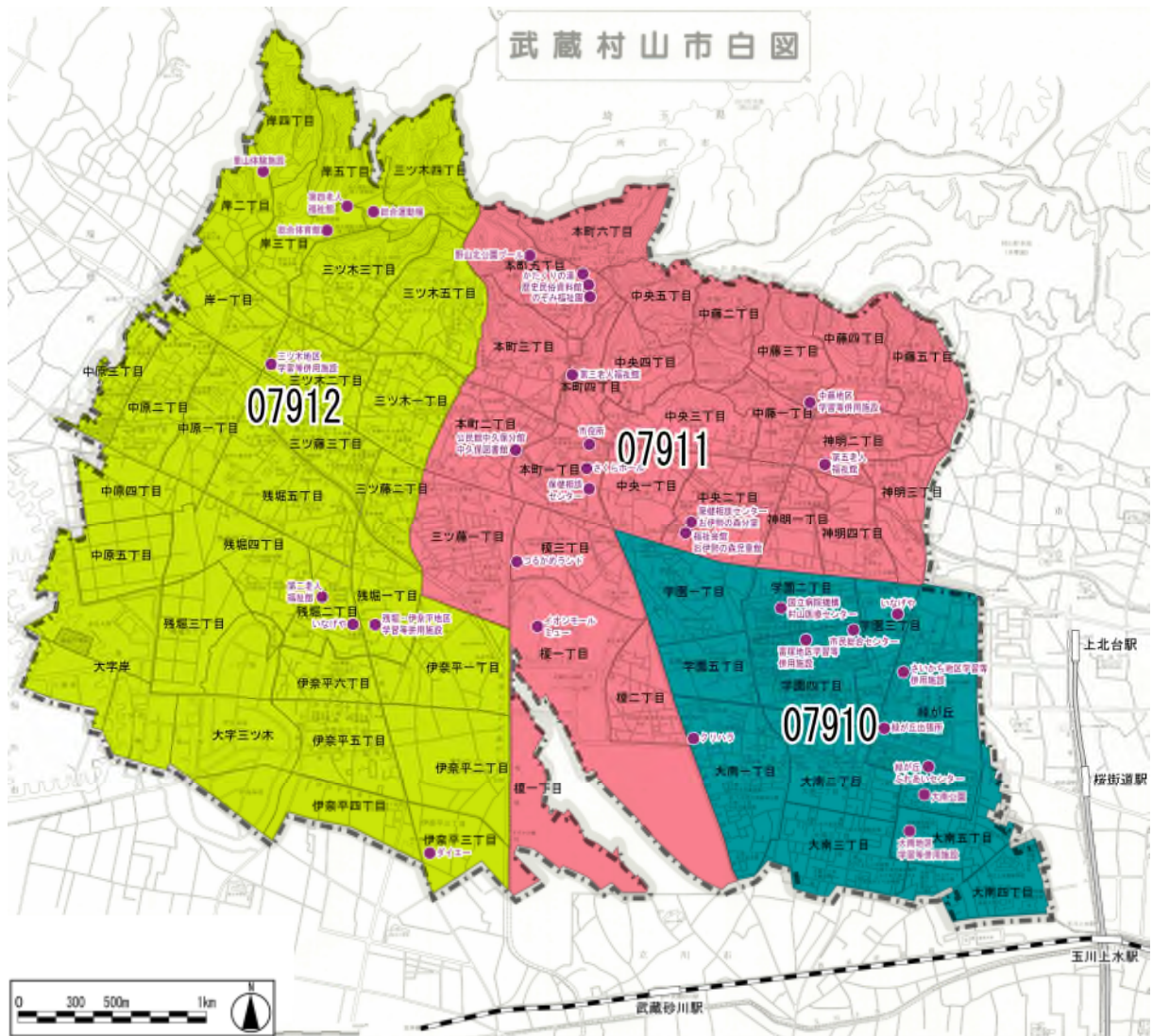


図 1-10 小ゾーン区分図

1.4 公共交通網

(1) バス路線網

① 通勤

- 鉄軌道がない本市においては、バス路線が主たる公共交通であり、青梅街道、所沢武蔵村山立川線等を中心に多くのバス路線がある。
- また、市内の交通空白地域の解消や駅、公共施設へのアクセスなど、通勤・通学者を含めた市民の足を確保することを目的に、多摩地域の他の自治体に先駆け、昭和 55 年 7 月から市内循環バスの運行を行っている。

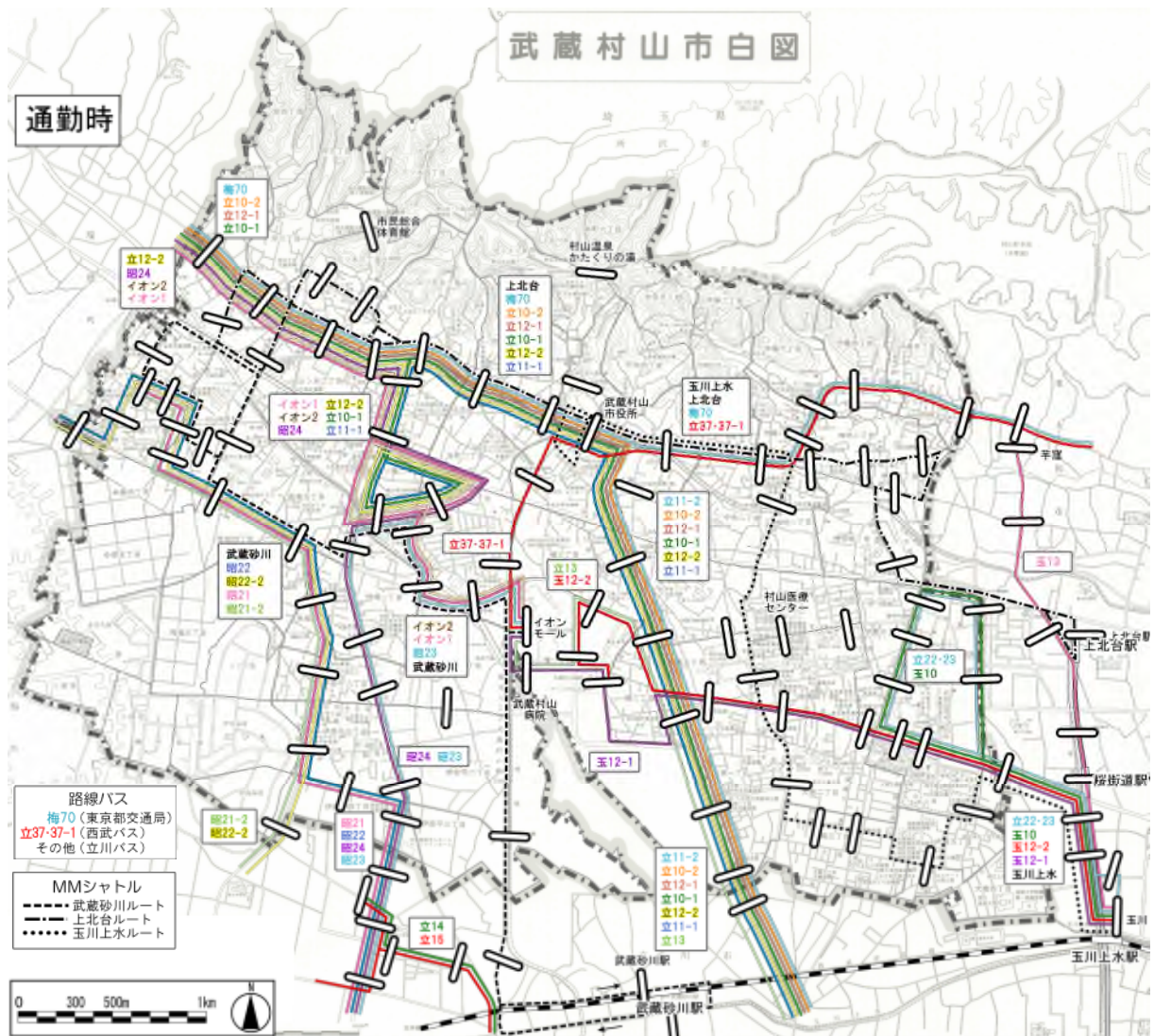


図 1-11 バス路線網図(通勤時)



図 1-12 バス路線網図(日中時)

(2) バス運行本数

- ➡ 本市で運行本数が多いのは青梅街道と所沢武蔵村山立川線、村山団地周辺となっている。

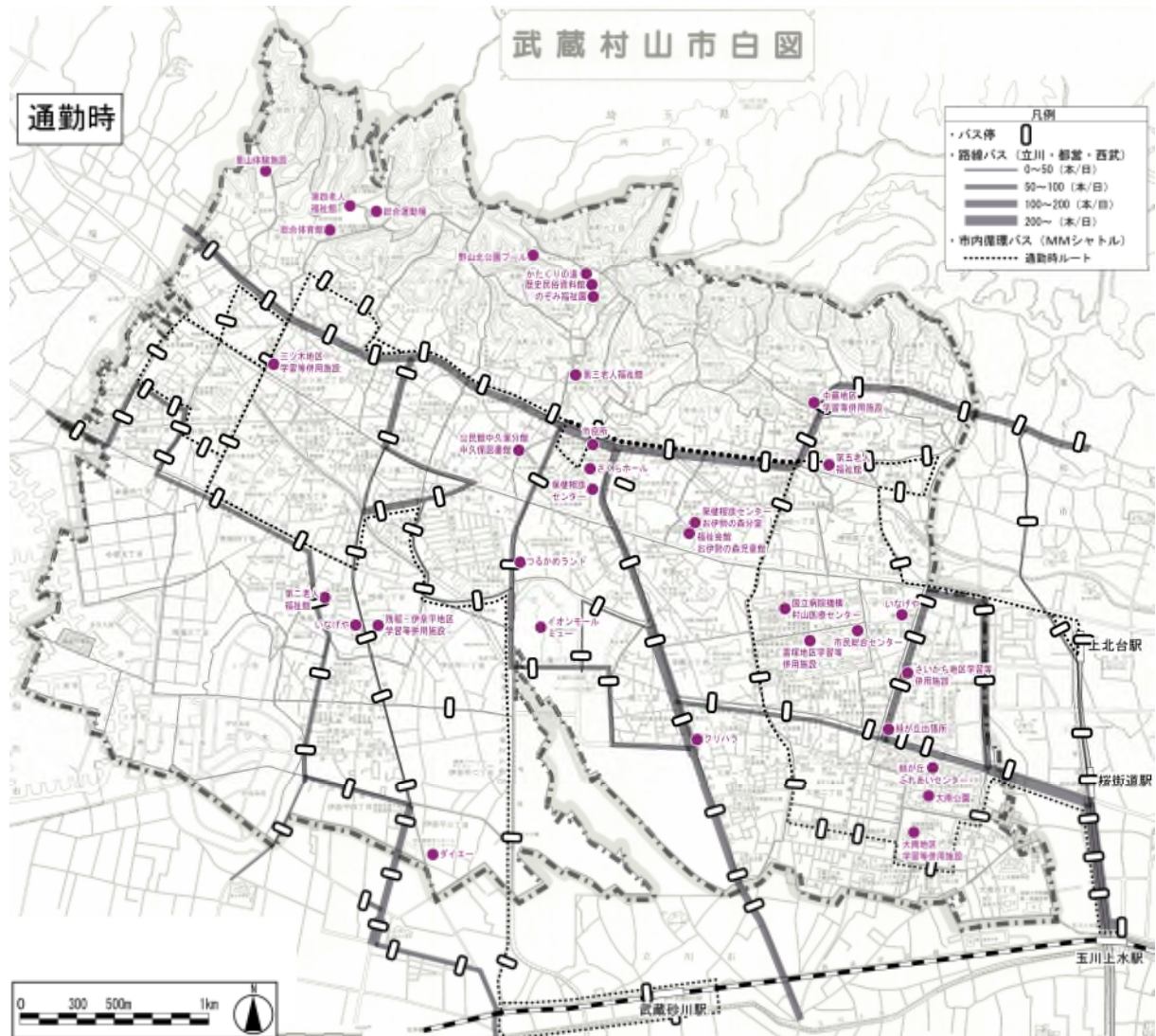


図 1-13 バス運行本数(通勤時)

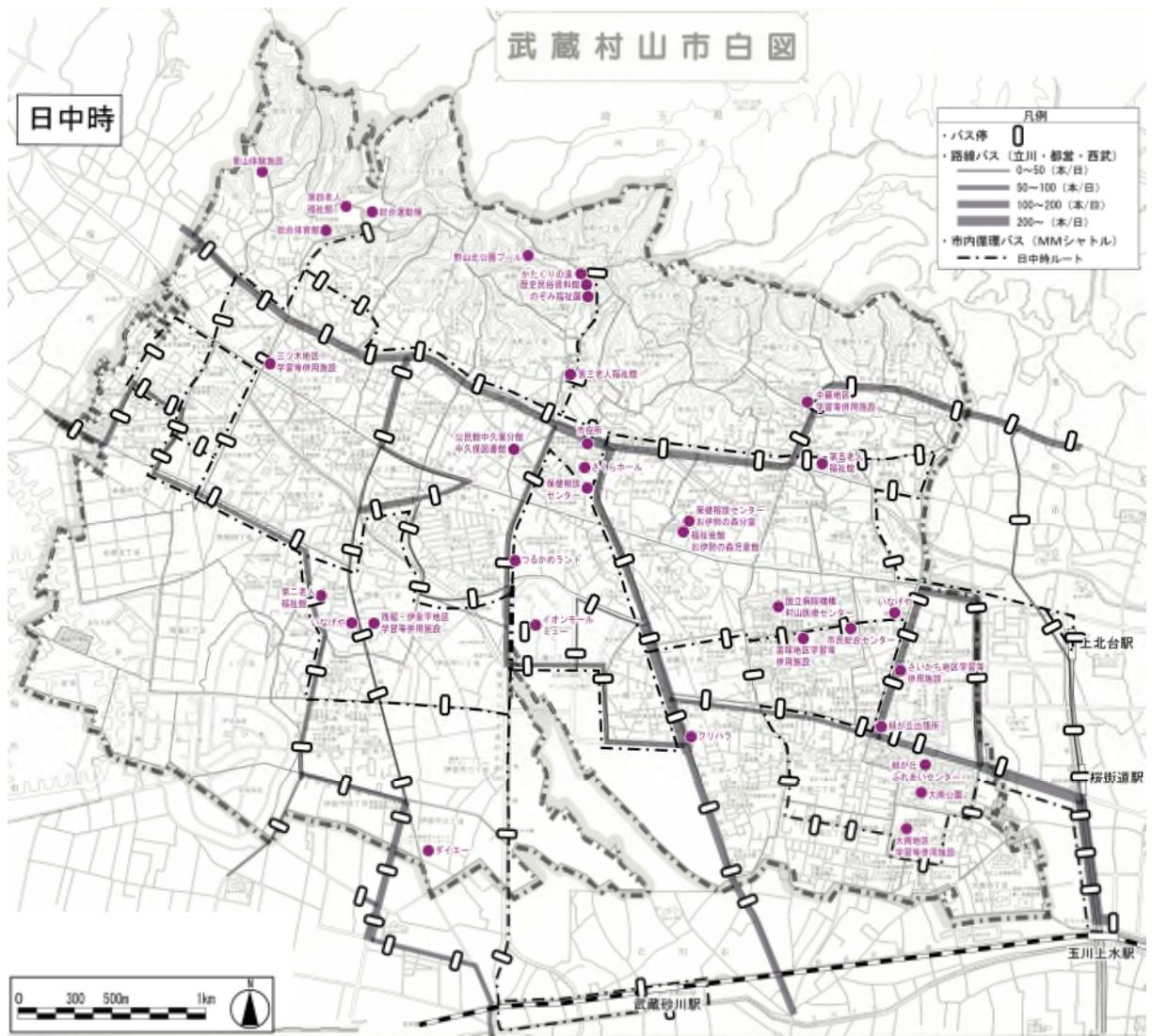


図 1-14 バス運行本数(日中時)

(3) バス不便地域

- ➡ バス利用が不便な地域（ここではバス停から300m以上離れている箇所と設定）としては、新青梅街道沿道の学園・神明・中央付近、三ツ藤三丁目付近に広がっている。

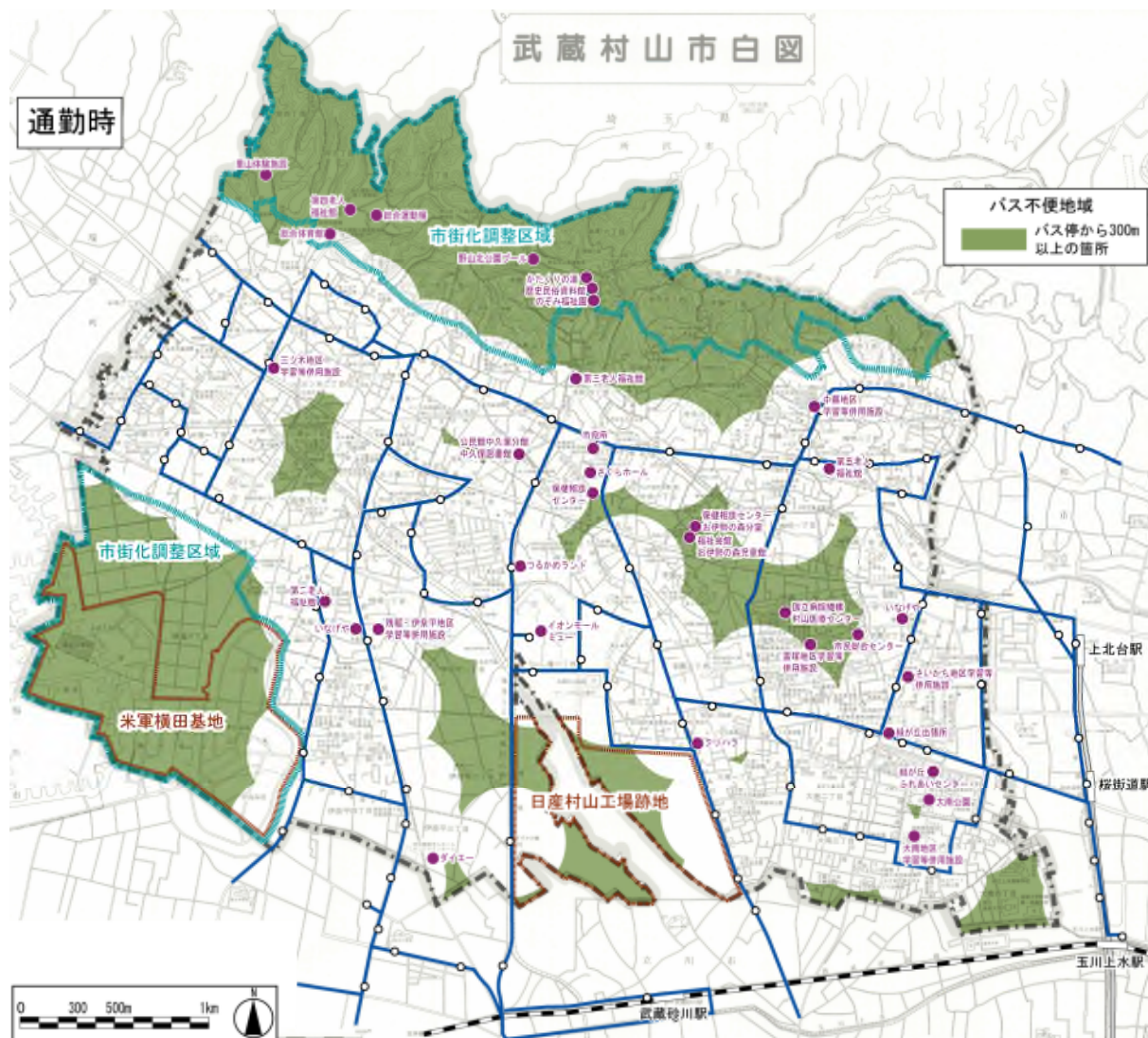


図 1-15 バス不便地域(通勤時)



図 1-16 バス不便地域(日中時)

(4) 接続する鉄道路線

- 市内のバス停の内、近隣の鉄道駅にアクセスするのは以下の通りとなり、青梅街道と村山団地周辺のバス停は鉄道3線の駅にアクセス可能であるが、市西側エリアを中心に1路線しかアクセスできないバス停も多い。

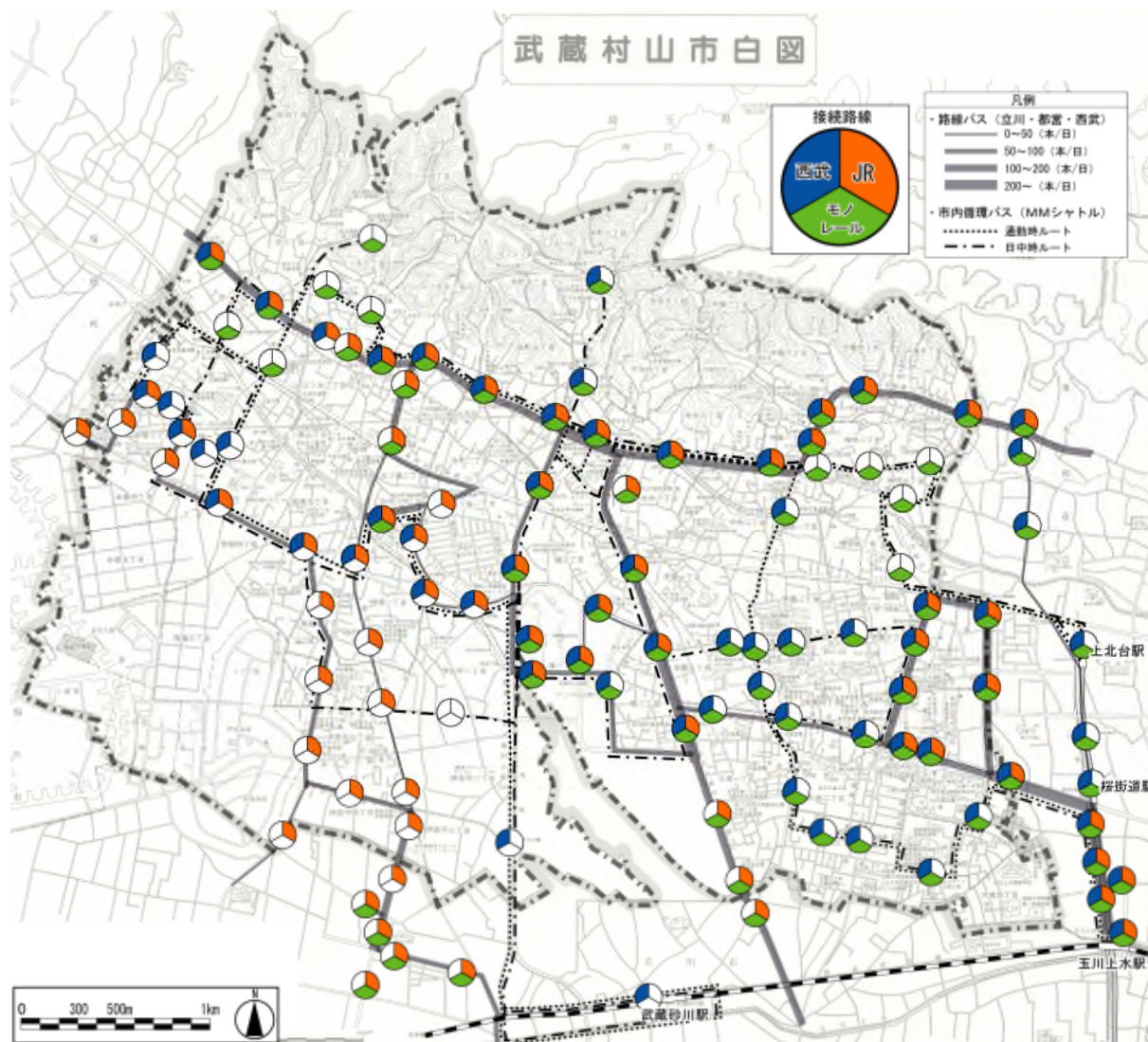


図 1-17 バス停別の接続する鉄道路線